

Ⅲ-7 コミュニティ形成機能調査

身近にある公園や広場は、子どもの遊び場としてだけでなく、自治会や学校などの地域に根差す団体の活動の場として、また、環境・社会教育団体など地域にとどまらない同じ目的を持ったグループの活動場所としても機能し、多様なコミュニティ形成空間としての機能を持っている。

そこで、本項では以下の観点から、コミュニティ形成に資する目黒区のみどりの機能について調査を行った。

コミュニティ形成機能の観点

コミュニティ活動の場

- ・地域コミュニティにとって、社寺や公園は地域のお祭りや様々な活動の場として機能する。一方、生活様式の多様化の中で、地域に限定されない環境学習やスポーツなど目的に応じて多くの人が集まるコミュニティも多くなっており、このような「コミュニティ」にとっても、公園や樹林地などのみどりは、環境学習の場・スポーツの場・趣味を実現する場として機能する。

観光イベント・歴史的祭事

- ・広域的な観光イベントにとって、多くの人が集まり、様々なイベントを開催する場としての公園緑地は、イベントの顔となり、イベントを多様に展開できる空間として機能する。また、歴史的祭事が行われる社寺などにとって、社寺林はその歴史を現在に伝える祭りの背景として機能する。

1. コミュニティ活動の場

目黒区では、公園を様々な団体が使用している。

住民参加による公園の維持管理活動は、地域のニーズに合った公園の有効活用に道を開き、住民にとって公園がより身近で親しみあるものとなる。このような活動を通して、公園使用が活性化すれば、地域の住民の方々の交流が活発になり、地域のコミュニティ活動も活性化するものと考えられる。

目黒区では、1997（平成9）年より地域住民3世帯以上で1つのグループを作り、公園や緑道等の花壇を手入れする登録制のボランティア団体制度「グリーンクラブ」を実施している。活動は、団体自ら作成した植栽計画書に基づき、春（3月）・夏（6月）・冬（12月）の年3回、区が配布する花苗を指定された花壇に植え付け、年間を通じて花壇の維持管理をしている。

現在のグリーンクラブの活動場所の内訳を表Ⅲ-7-1に示す。

2024（令和5）年4月1日現在、グリーンクラブの数は96団体あり、うち、86団体が公園や緑道・児童遊園・ふれあい広場・遊びの場等で花壇づくりを行っている。活動公園数では同じ場所で活動している団体もあるため69箇所となるが、これは目黒区内の公園153箇所に対し45.1%の実施率となっている。グリーンクラブでは、公園だけではなく、道路（3箇所、4団体）、住区センター（6箇所、6団体）、駅前（3箇所、3団体）においても活動しており、みどりを通じたコミュニティの形成が公園にとどまらず展開している。

また、目黒区では「住民参加による公園活性化のための要綱（2001（平成13）年2月要綱策定）」により、公園清掃・花壇管理、イベント企画運営をおこなうボランティア団体を公園活動登録団体として支援している（表Ⅲ-7-2）。2023（令和4）年度4月1日現在で20団体が登録されている。これらの団体は、主に地区・近隣公園規模の9公園で活動しており、中目黒公園では5団体、目黒天空庭園、駒場野公園で4団体、東山公園で2団体、菅刈公園・碑文谷公園・駒場公園・中央緑地公園・すずめのお宿緑地公園で各1団体となっている。これらの団体の活動内容は様々で、公園の清掃から、公園でのイベント実施、自然観察活動、犬の飼い主のマナー向上、最近では乳幼児の保護者の交流の場づくりにまで広がっている。

コミュニティによる公園使用の状況を図Ⅲ-7-1に示す。

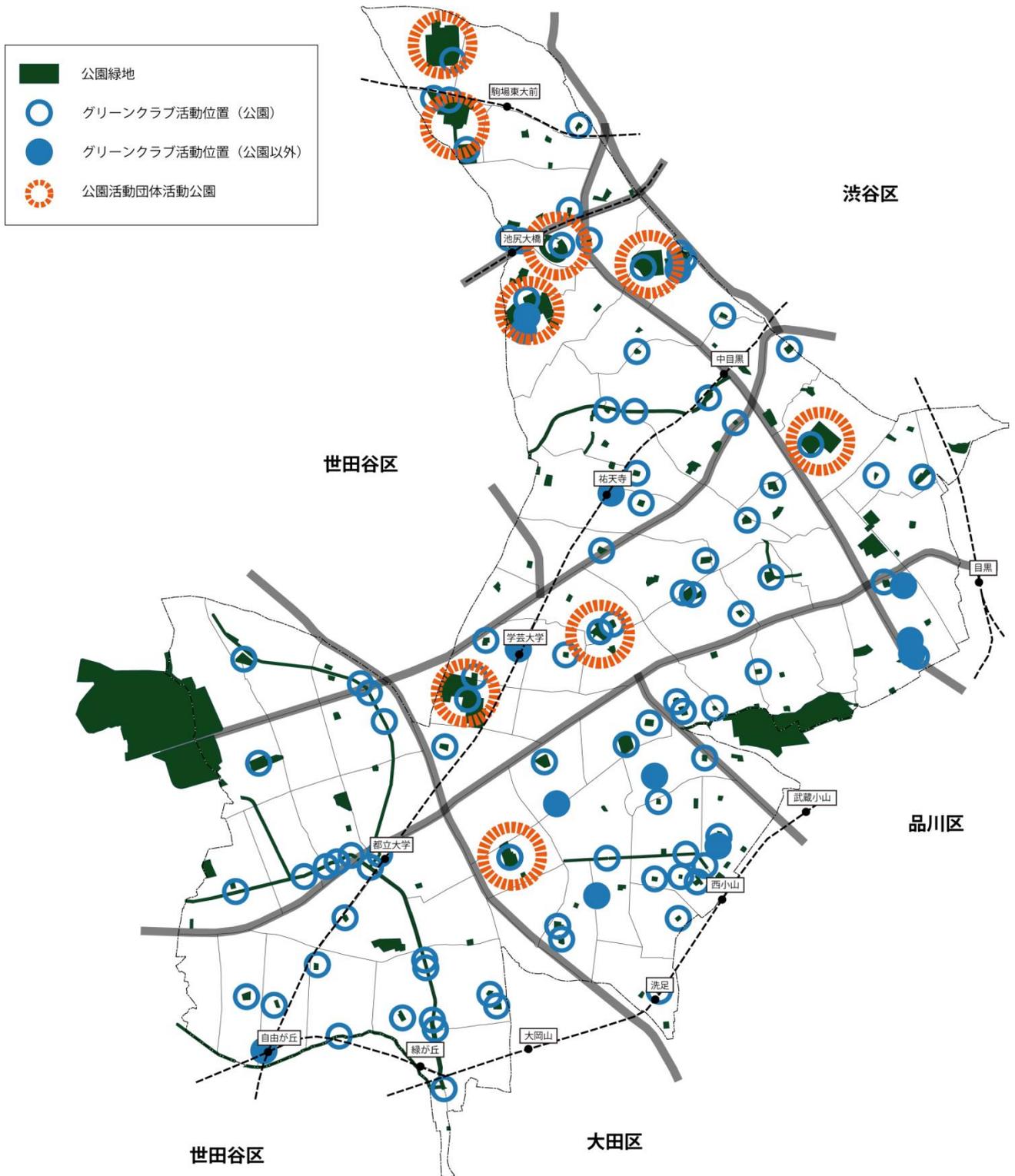
表Ⅲ-7-1 グリーンクラブ活動場所別内訳

区立公園	児童遊園	ふれあい広場	遊び場等	緑道	道路	住区センター	駅前	計
42	18	2	1	6	3	6	3	81

表Ⅲ-7-2 公園活動登録団体

活動場所	名称	主な活動内容
菅刈公園	NPO法人菅刈ネット 21	公園の清掃、除草、グリーンクラブ活動、イベントの実施、業務の受託
碑文谷公園	碑文谷公園くらぶ	公園の清掃、除草、グリーンクラブ活動、イベントの実施
中目黒公園	さーくる・ガーデン・クラブ	公園の花壇運営管理、講習会の実施
	いきもの池・原っぱクラブ	公園の生物調査保全、自然観察活動
	健康とスポーツ 2002 クラブ	公園の広場の健全な運営と活性化
	有機クラブ	有機堆肥づくりと公園内の土壌改良育成・保全活動、収穫イベントの実施
	中目黒わんわんクラブ	公園を利用する犬の飼い主のルール遵守とマナー向上活動
駒場野公園	駒場野ホテルの会	公園環境の保全、公園水辺環境の改善、ホテルの育成
	こまばりボンクラブ	生ごみ堆肥づくりと公園内の土壌改良育成
	森のみどり人	公園雑木林管理、植生調査
	駒場プレーパークを作る会	子ども向け野外活動の運営
東山公園	目黒サンクチュアリーズ	公園の生物調査・保全、自然観察活動
	めぐろ遊び場づくりの会	地域住民や乳幼児の保護者が交流する遊び場づくり活動
目黒天空庭園 ・ オーパス 夢ひろば	NPO法人大橋エリアマネジメント協議会	公園の清掃、除草、イベントの実施、業務の受託、ボランティア団体の調整
	目黒天空庭園栽培ガーデニングクラブ	ブドウ・野菜の栽培、収穫イベントの実施
	オーパス夢ひろば運動・スポーツ・遊びクラブ	広場の健全な運営と活性化、地域住民の健康づくりと交流、清掃活動
	オーパス・ドッグ・クラブ	犬のお散歩ルールやマナーの向上、交流活動
駒場公園	旧前田侯爵邸ガイドボランティアの会	旧前田家本邸来館者への解説・案内
中央緑地公園	めぐろ遊び場づくりの会@中央緑地公園	地域住民や乳幼児の保護者が交流する遊び場づくり活動
すすめのお宿 緑地公園	あそぼう会	地域住民や乳幼児の保護者が交流する遊び場づくり活動

※都市整備部事業概要（2023（令和4年）年度実績）より



図Ⅲ-7-1 コミュニティによる公園使用

2. 区内イベント・歴史的祭事

区民が誇りを持つことができる地域要素は、コミュニティの形成・維持にとって大変重要である。それは、歴史ある史跡・神社仏閣や、ランドマークとなる施設・公園といったハード要素にとどまらず、「祭り」や「イベント」などのソフト要素も重要となる。

たとえば、目黒区の場合、落語「目黒のさんま」にちなんだ9月の「目黒のSUNまつり（目黒区民まつり）」や、各地の「さくらまつり」、社寺の祭事として催される、大鳥神社の「酉の市」や、龍泉寺（目黒不動尊）の「甘藷まつり」なども、目黒区を誇りに思える要素といえる。

目黒区内で催されるイベントや社寺の祭事の事例として、区広報を資料にまとめた結果を表Ⅲ-7-3、図Ⅲ-7-2に示す。

区内のイベントは、主に駅周辺で商店街などが主体で行っているものが多い。この中で、区民センター周辺で行われるイベントや観光ブドウ園で行われるぶどう狩りについては、最寄の駅から遠く、他の観光イベントに比してアクセス条件が悪いものとなっている。

一方で、これらのイベントのうち、区民センター周辺と中目黒駅周辺のイベントで公園緑地が活用されている。

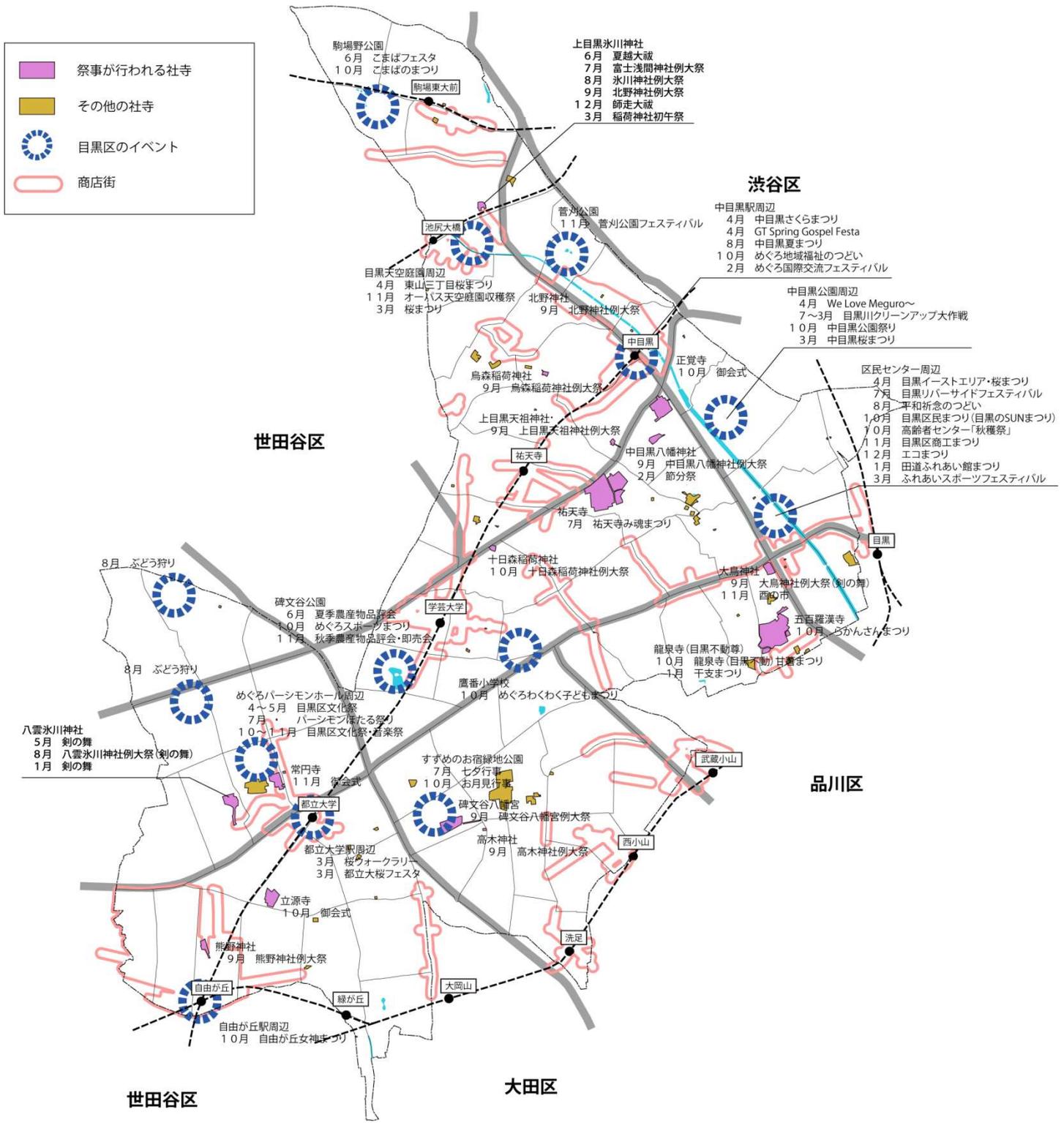
社寺の祭事は夏から秋にかけて実施されるものが多い。社寺はまとまりのある樹林地を有しているものも多く、これらの樹林地は「鎮守の森」とよばれ、伝統的な祭事とともに、古くからの生活文化を現代に継承している。

表Ⅲ-7-3 目黒区内の主な観光イベントと歴史的祭事

月	区内イベント	
4月	中目黒さくらまつり	中目黒駅周辺
	一緒に目黒を美しくしませんか	中目黒公園、目黒川沿川
	目黒イーストエリア・桜まつり	田道広場公園
	GT Spring Gospel Festa	中目黒GT
	東山三丁目桜まつり	東山貝塚公園
5月	区内文化財めぐり	氷川神社、立源寺、東光寺など
6月	こまばフェスタ	駒場野公園
	夏季農産物品評会	碑文谷体育館(碑文谷公園内)
7月	目黒リバーサイドフェスティバル	区民センター
	七夕行事	すずめのお宿緑地公園内
	パーシモンほたる祭り	めぐろパーシモンホール
	目黒川クリーンアップ大作戦	目黒川沿川上中流
8月	中目黒夏まつり	目黒銀座商店街通り、西銀座商店街通り
	平和祈念のつどい	区民センター
	ぶどう狩り	区内ぶどう園
10月	目黒区民まつり(目黒のSUNまつり)	田道広場公園、区民センター、田道小学校
	自由が丘女神まつり	自由が丘駅周辺
	めぐろスポーツまつり	碑文谷体育館(碑文谷公園内)
	中目黒公園祭り	中目黒公園
	こまばのまつり	駒場野公園
	目黒区文化祭・音楽祭	めぐろパーシモンホール
	めぐろオータムアート	東京大学駒場キャンパス
	区内文化財めぐり	熊野神社、谷畑弁財天、九品仏川緑道
	お月見行事	すずめのお宿緑地公園内
	目黒区文化祭	めぐろパーシモンホール
	めぐろわくわく子どもまつり	鷹番小学校
	高齢者センター「秋穫祭」	田道ふれあい館
	オータムフェスティバルin西小山	クラフトビレッジ西小山
	めぐろ地域福祉のつどい	中目黒GT
11月	菅刈公園フェスティバル	菅刈公園
	オーパス天空庭園収穫祭	目黒天空庭園、オーパス夢ひろば
	目黒区商工まつり	区民センターホール
	めぐろオータムアート	旧前田本邸(洋館)・総合庁舎
	目黒区文化祭	めぐろパーシモンホール
	区内文化財めぐり	祐天寺、正覚寺など
12月	エコまつり	田道ふれあい館
	目黒川クリーンアップ大作戦	目黒川沿川上中流
1月	区内文化財めぐり	烏森稲荷、寿福寺、東山貝塚など
2月	田道ふれあい館まつり	田道ふれあい館
	めぐろ国際交流フェスティバル	総合庁舎別館
3月	区内文化財めぐり	瀧泉寺、羅漢寺、海福寺など
	桜ウォークラリー	都立大学近隣町会、商店街
	都立大桜フェスタ	都立大学駅前緑道
	桜まつり	目黒川沿川 氷川橋前広場
	中目黒桜まつり	合流点遊び場
	ふれあいスポーツフェスティバル	区民センター
	目黒川クリーンアップ大作戦	目黒川沿川上中流

月	社寺祭事	
5月	剣の舞	八雲氷川神社
6月	夏越大祓	上目黒氷川神社
7月	富士浅間神社例大祭	上目黒氷川神社
	祐天寺み魂まつり子供盆踊り大会	祐天寺
8月	氷川神社例大祭	上目黒氷川神社
9月	北野神社例大祭	上目黒氷川神社
	八雲氷川神社例大祭(剣の舞)	八雲氷川神社
	大鳥神社例大祭(剣の舞)	大鳥神社
	碑文谷八幡宮例大祭	碑文谷八幡宮
	上目黒天祖神社例大祭	上目黒天祖神社
	中目黒八幡神社例大祭	中目黒八幡神社
	烏森稲荷神社例大祭	烏森稲荷神社
	熊野神社例大祭	熊野神社
10月	北野神社例大祭	北野神社
	高木神社例大祭	高木神社
	龍泉寺(目黒不動)甘薯まつり	龍泉寺(目黒不動)
	十日森稲荷神社例大祭	十日森稲荷神社
	御会式	正覚寺
11月	御会式	立源寺
	らかんさんまつり	五百羅漢寺
12月	西の市	大鳥神社
1月	御会式	常円寺
2月	師走大祓	上目黒氷川神社
3月	干支まつり	龍泉寺(目黒不動尊)
	剣の舞	八雲氷川神社
	節分祭	中目黒八幡神社
	稲荷神社初午祭	上目黒氷川神社

※目黒区ホームページ及びめぐろ観光まちづくり協会ホームページ「めぐろ WALK」より作成



図Ⅲ-7-2 観光イベント・歴史的祭事

Ⅲ-8 感性をはぐくむ機能調査

みどりは、生育する気候風土に大きく影響を受けながら、花を咲かせ、葉を生い茂らせ、実をつけ、葉を散らす、一年の間でも変化に富んだ表情を持っている。日本人の四季に対する感覚は、みどりがつくり出す豊かな表情の変化によるところが大きい。また、長い時間生き続ける大径木は、その地域の歴史や生活の変遷を見つめ、後世の人々に伝えるタイムカプセルのような役割を果たす。

このようなみどりのもつ表情や性質からはぐくまれる豊かな感性は、区民が愛着を持って目黒区に住み続けるための大きな財産となる。

そこで、本項では以下の観点から、感性をはぐくむ機能に資する目黒区のみどりについて調査を行った。

感性をはぐくむ機能の観点

四季や旬を感じるみどり

- ・植物は四季を通じて成長し、花や実、黄葉・紅葉、落葉などの様々な状態を見せる。このような四季を通じた植物の変化は、人々に四季の流れを感じさせる機能を持つ。また植物が一团となって樹林や草地・公園・農地となることで、豊かな自然やいきもの、生活と深いつながりのある農を感じさせる機能を有する。

ふるさとへの愛着を培うみどり

- ・長い年月をかけて大径木へと育った樹木は、地域や人々の思い出のシンボルとなり、その樹木のある地域への愛着を培う機能を有する。

1. 四季や旬を感じるみどり

みどりの量の調査の樹木調査ⅠおよびⅡを基に、区民の感性をはぐくむみどりを四季の変化に着目して抽出した。抽出に当たっては主要な樹種 18,190 本（樹木調査Ⅰの樹木の約 9 割にあたる樹種 33 種）と街路樹 5,769 本を対象に、その樹種ごとの季節変化の特徴（花を咲かせる、実をつける、紅葉・黄葉する、落葉する）とその変化の時期から整理した。その結果を表Ⅲ-8-1、図Ⅲ-8-1 に示す。

「春」は、サクラ並木といった線的なみどりが多く、特に目黒川や呑川緑道、立会川緑道などのサクラ並木は、目黒区の代表的な景観ともなっている。このほかにもすすめのお宿緑地公園～清水池公園、中央緑地～油面公園においてもサクラ並木があり地域のシンボルとなっている。また、ケヤキなどの新緑を多くの公園・大学等で楽しむことができる。

「夏」は、イイギリ・タイサンボクの花、ヤマモモ・ウメなどの実が楽しめる樹木を区内全域で見ることができるが、それらの樹木が 1 箇所集中している場所は少ない。

「秋」は、目黒通り、東山小学校付近、洗足駅前、野沢通り、玉川通りに特徴的なイチョウ並木が確認できる。このほか、公園の多くでケヤキ・イチョウなどの黄葉を楽しむことができる。一方、紅葉を楽しめるカキ・クヌギ・イロハモミジは、黄葉する樹木に比べ集中している場所はなく、公園や街路にはあまり見られない。庭や施設の緑化の際のアクセントとして植栽されたものが多いと考えられる。秋はまた、樹木の実を楽しむ季節でもあり、区内では、スタジイなどのどんぐりや、プラタナスの実、イチョウのギンナンやカキの実のなど、遊びや食、形状や色彩といった面で特徴をもつ樹木が区内全域に存在する。

「冬」については、区内には落葉樹が多いことから、樹形を豊かに楽しむことができる。一方、ツバキやサザンカなど冬に花を咲かせる樹木はきわめて少なく、色彩という面では物足りないものとなっている。

表Ⅲ-8-1 四季の特徴のある目黒区内の樹木(100本以上)

樹種	本数	春	夏	秋	冬
スタジイ	3522			実	
サクラ	3303	花			落葉
ケヤキ	1813	新緑		黄葉・実	落葉
イチョウ	1316			黄葉・実	落葉
シラカシ	954			実	
ヒマラヤスギ	890				
クスノキ	667	新緑			
サワラ	455				
エノキ	428				落葉
カラマツ	427			黄葉	落葉
ムクノキ	394				落葉
ミズキ	344	花			落葉
クロマツ	291				実
プラタナス	280			実	落葉
アオギリ	279		花	実	落葉
カキ	264			紅葉・実	落葉
マテバシイ	233			実	
ニセアカシア	202	花			落葉
ヒノキ	194				
モチノキ	179			実	
クヌギ	159	新緑		紅葉・実	落葉
ヤマモモ	154		実		
サンゴジュ	153			実	
イイギリ	150				落葉・実
トウネズミモチ	147		花	実	
ウメ	142	花	実		落葉
タイサンボク	139		花		
モッコク	134		花	実	
メタセコイア	130	新緑		紅葉	落葉
アカメガシワ	119	新緑			落葉
ネズミモチ	115		花		
イロハモミジ	111	新緑		紅葉	落葉
ユリノキ	102	花		黄葉	落葉

四季を楽しむほか、目黒区内では、さまざまな場所でいきものや自然を楽しむ活動が行われている（2023（令和5）年度現在の区ホームページによる）。

自然を楽しむみどり（例示）

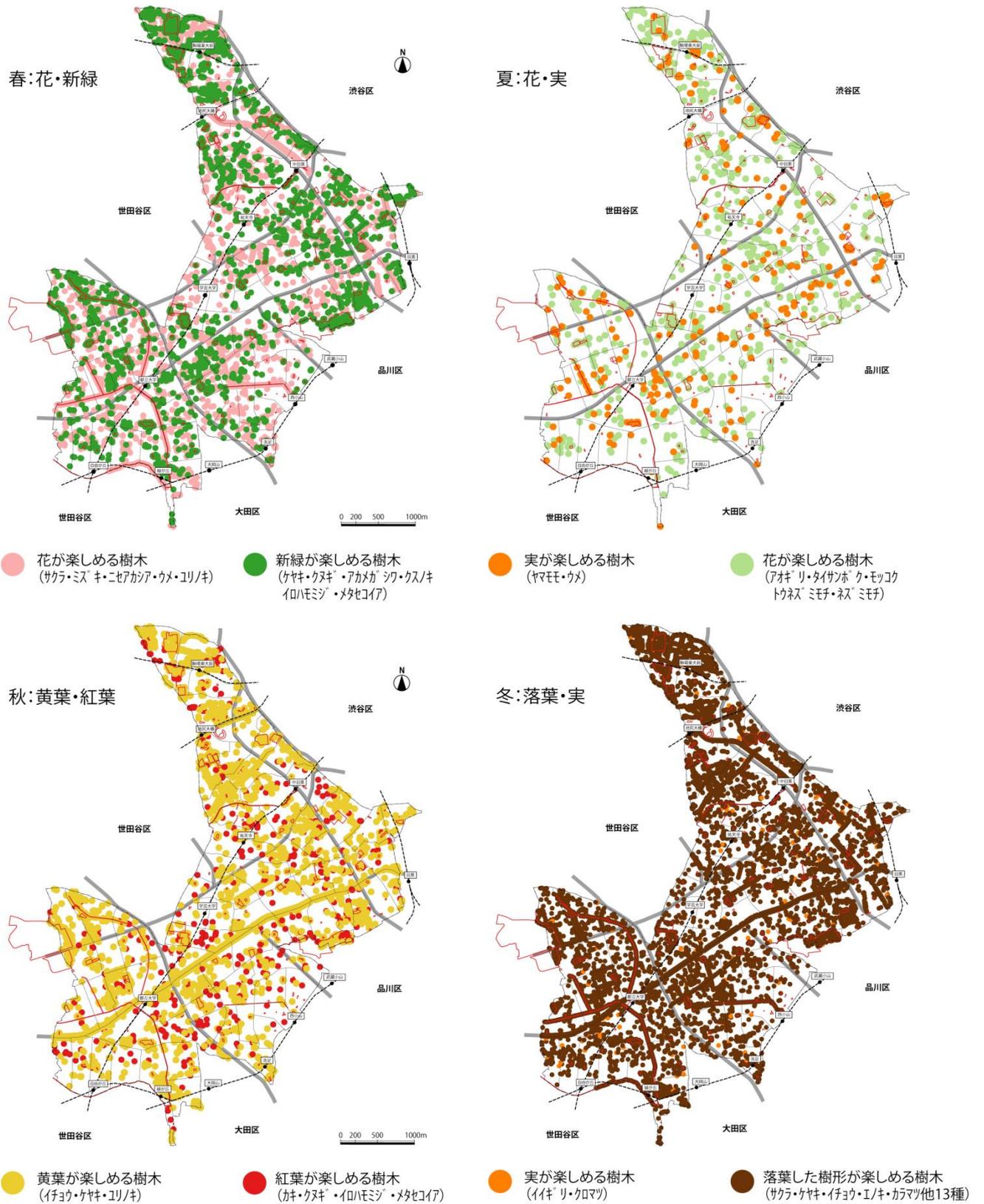
- ・ 碑文谷公園 こども動物広場（ポニー・ウサギ等の小動物とふれあう場）
 ボート場（弁天池）、生物多様性保全林
- ・ 駒場野公園 自然観察舎、駒場野自然クラブ、駒場野ホテルの会、デイキャンプ場
 いきもの発見隊（大池かいぼり）、生物多様性保全林
- ・ 駒場公園 旧前田家本邸の庭園
- ・ 菅刈公園 旧西郷従道邸の復原庭園、生物多様性保全林
- ・ 西郷山公園 旧西郷従道邸の庭園の高台から富士山を望むことができる
- ・ 目黒川船入場 いきもの発見隊
- ・ 清水池公園 釣りができる公園
- ・ 中目黒公園 花とみどりの学習館（自然観察の実施）
- ・ すずめのお宿緑地公園・古民家 お月見行事
- ・ 学校ビオトープ 小学校 18 校、幼稚園 1 園
- ・ グリーンクラブ活動公園

また、数少ないが区内には農地が 1.87ha 存在しており、その多くは生産緑地として保全されている。また、これらの農地や公園において以下のような区民が農業に触れ合うイベントが開催されている（2023（令和5）年度現在の区ホームページによる）。

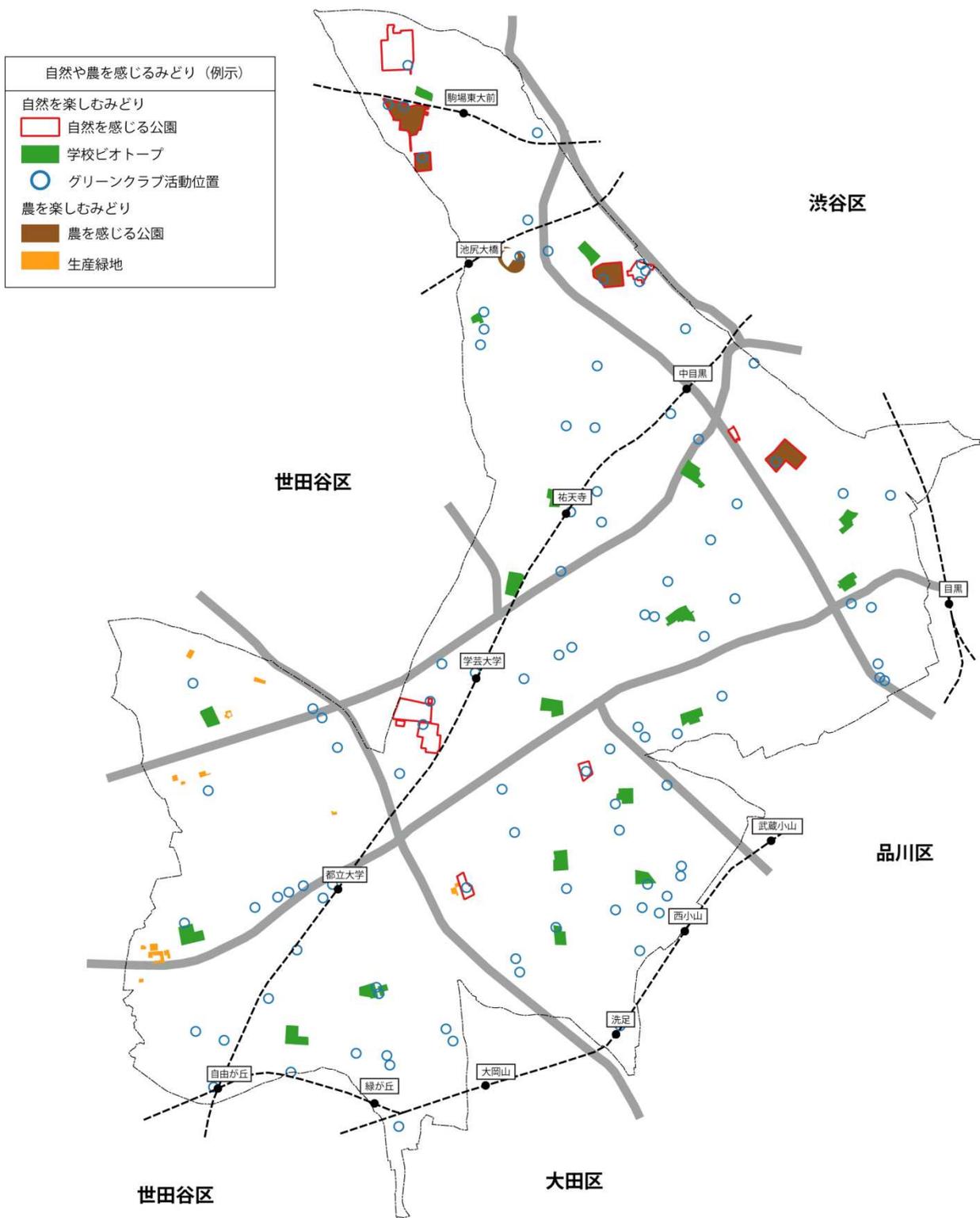
農を楽しむみどり（例示）

- ・ 農業を体験できる農地 じゃがいも掘り（八雲）、農とふれあう収穫体験（八雲）
 ぶどう祭り（八雲、東が丘）
- ・ 駒場野公園 バーベキューができる公園
- ・ 中目黒公園 畑楽っ子くらぶ（畑作体験）、楽田クラブ（稲作体験）、
 ハーブづくり
- ・ 目黒天空庭園 ブドウ栽培とワイン造り、おおはし里の杜（屋上水田）
- ・ 菅刈公園 菅刈小学校農業体験

自然や農を感じるみどりの状況を図Ⅲ-8-2に示す。



図Ⅲ-8-1 四季を感じるみどり



図Ⅲ-8-2 自然や農を感じるみどり

2. ふるさとへの愛着を培うみどり

現況調査の樹木調査Ⅰを基に、目黒区内の大径木の抽出を行った。その結果を図Ⅲ-8-3に示す。

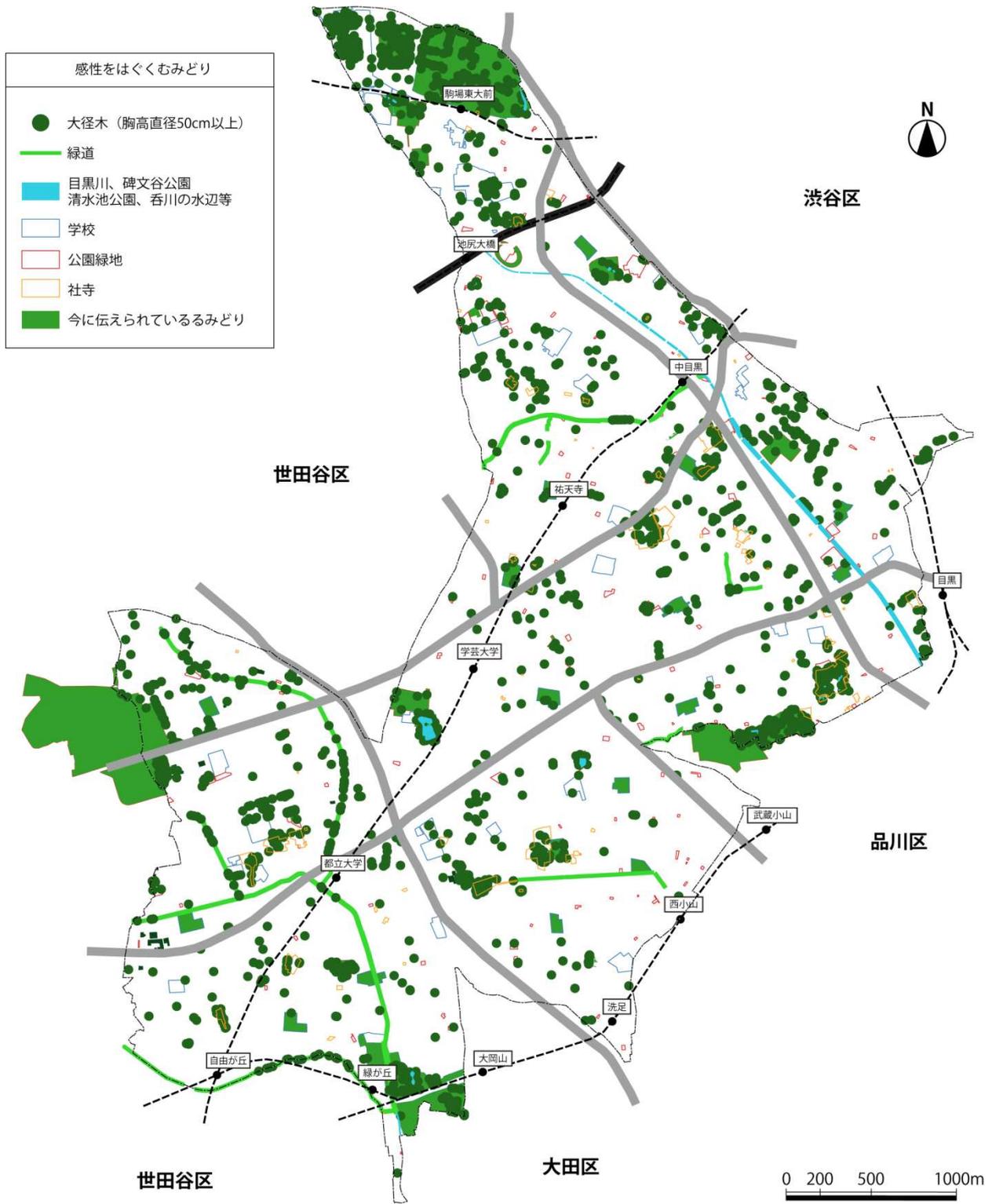
その結果胸高直径50cm以上の大径木は目黒区内に2,328本確認された。これらの大径木は地域や施設のシンボルになって、人々の心に訴えるもので、特に子供たちは学校生活や遊びの思い出にとって大切な要素となる。

この観点で大径木の存在する場所を確認すると、公園では、駒場公園、駒場野公園、菅刈公園、碑文谷公園、すすめのお宿緑地公園、中根公園、清水池公園、中央緑地、都立林試の森公園、都立駒沢オリンピック公園などの大規模な公園や、東京大学駒場Ⅰキャンパス、東京工業大学大岡山キャンパスなどにも多く存在している。祐天寺、龍泉寺（目黒不動尊）などの社寺にも多く存在している。一方、小規模な公園、小中学校などには多くて数本、場合によっては全く大径木の無い公園・学校なども見られる。

また、このほか、目黒川や呑川本流緑道等の桜並木は目黒区民にとって誇りに感じられるみどりといえる。また、目黒区生物多様性地域戦略では「めぐろの風景」として、以下のみどりを「今に伝えられている風景・新しい風景」として挙げられている。これらのみどりも目黒区への区民の愛着を培うみどりといえる。（表Ⅲ-8-2）

表Ⅲ-8-2 今に伝えられる風景・新しい風景

風景	特徴	具体的な場所の例
庭のある風景	庭の木々やベランダの鉢植え、道路沿いの生け垣や花壇など、多様なみどりの広がる住宅地	目黒区全域
小さな水辺の風景	公園や校庭、庭にある小さな池	学校や公園のビオトープ池
屋敷林や鎮守の森、学校の森の風景	住宅地の中に点在する古くから伝わる屋敷林、神社の森、お寺の森、公園や学校の森など	駒場野公園、碑文谷公園、中根公園、宮野古民家自然園、すすめのお宿緑地公園、中央緑地公園、屋敷林、各地の社寺
草はらの風景	大きな公園の園路沿いや校庭周辺、線路脇の土手などの原っぱ、学校の野草や雑草園、芝生の校庭など	中目黒公園、東京大学駒場Ⅰキャンパス、東京工業大学大岡山キャンパス、碑文谷公園、線路の土手
雑木林や畑・水田の風景	人の手が入ることによって保ち、伝えられる林や田んぼ、畑	駒場野公園、菅刈公園、区民キャンパス、公園、各地の生産緑地
都市の森の風景	大学や研究所などに残る大きな樹林、目黒川沿いの崖に連続する樹林	都立林試の森公園、都立駒沢オリンピック公園、東京大学駒場Ⅰキャンパス、東京工業大学大岡山公園
広がりのある水辺の風景	碑文谷公園弁天池や清水池、海とつながっている目黒川や呑川下流	碑文谷公園弁天池、清水池、目黒川、呑川（緑が丘3丁目より下流）
新しいみどりの風景	都市の中で建物の屋上やベランダ、壁面の緑化、商店街でのフラワーポット等	目黒十五庭、目黒天空庭園



図Ⅲ-8-3 ふるさとへの愛着を培うみどり